令和６年度(2024)

令和６年６月19日第１回学校運営協議会実施　委員12名出席、３名欠席
さいたま市学校運営協議会規則の説明
「学校運営に関する基本的な方針」について
・かつては渉外や生徒募集、保健管理を別にして８分掌あったものを合併し６分掌に編成し、個々が複数の業務に関わるように整備してきた。昨年度からＳＳＨの人材育成重点枠（海外連携）の指定を受けて、多くの国々とオンライン等で交流を進めてきたが、熱心な国々は来日計画も立て、最近ではインドの学校が本校に生徒２５人を連れて来日した。これをＳＳＨ推進部で担当してしまったのだが大変な仕事量になってしまった。
本来姉妹校交流等を担当してきた国際交流の係が教務部内にあり、学校として複数の分掌で担当することができれば負担が偏ることはなかった。ホームステイの手配、鎌倉へのバスツアーと校内歓迎サイエンスプログラムは計画的に進めれば分担できた内容であった。ハワイからの来日計画もあり、今後の課題である。
　大学にも多くの留学生が来ていて、文化の違いや日本での生活等についてアドバイス等も可能であることをご指摘いただくことができた。
・ＩＣＴ先進校としての課題等
　「ＩＣＴの導入で学力低下」という小学生のデータがあるようだが、高校ではどうなのか。本校では理数科設置以来のプロジェクタ等の整備、タブレット活用は８年目を迎え、授業がＩＣＴ一本ということではなく、それぞれの良さを生かす形でこなれてきている。時間短縮になる部分でペアワークやグループワークを利用し、自分の考えを発表する、人の話を聞く等のスキルが育っている。さらに効果的なＩＣＴ機器活用となるよう先進校として取り組んでいきたいと話し合われた。
・地域への貢献、学校としての発信の大切さ
・進路実績の向上の検証

令和６年11月26日　第２回学校運営協議会実施　委員10名出席　５名欠席
学校運営に関する報告
授業見学、校内視察
・上半期の教育活動の報告として、学校案内、生徒募集行事資料を提示した。
　→ハワイ、インド、インドネシアへのＳＳＨ海外連携、各ＦＷ、小中学校との連携プログラム（自由研究サポート、ASEP、星空教室等）が順調に実施された。
　→進学指導についても順調であり、学校選択問題で入学した３年生がいよいよ追い込みの時期を迎え、共通テストも３００人以上の出願状況であることを報告した。
　→生徒募集状況は夏から４回の学校説明会と部活動体験会を通して約２，０００組の中学生が来校している、秋の新聞発表では普通科１．８０倍、理数科１．７８倍と順調に志望者が増加している。
　→行事では文化祭で３，０００人近い来校者がいたこと、地域活動についても博物館や公民館のボランティア、宮原まつり、うえたけフェスタ、喫煙防止キャンペーン、さいたまマラソンボランティア等にも積極的に参加している。
→部活動も陸上部のインターハイ出場、カヌー部の関東大会を報告し、多くの部活動が熱心に活動している。
→一方で生徒の登下校マナーでは近隣の方々の苦情をいただいていること、自転車のが多いこと等に触れ、安全・安心な学校生活を継続的に指導していく。
→授業見学の中では少人数授業、ＩＣＴ活用の実態を見ていただき、生徒の実態を感じていただいた。
　授業後には「中学、高校の部活動の外部委託と先生の意欲」を中心に熟議を進め、近隣の中学校、高等学校として連携を深めていくことを確認した。

令和７年２月14日第３回学校運営協議会実施　委員10名出席、５名欠席
学校運営の自己評価
・教務部より
　生徒募集について、普通科１．５０倍、理数科２．３５倍というのは評価できる数値だと考えている。学校説明会などで積極的にアプローチした結果なのだと考えている。現在、グローバル教育についても推進しているが、ＳＳＨ推進部との連携をどのように進めていくのかなど課題として残るものも多い。担当業務の引継ぎについても検討を始めていきたい。
・生徒指導部より
　生徒は安心安全に過ごしており、落ち着いていると言える状況にある。ヘルメット着用については、点検日とそうでない日で差があり、まだまだ課題があると考えている。自転車についてはイヤフォン着用をしている生徒がいるため、今後の指導を徹底していきたい。様々な指導が必要な生徒が入学するようになったと感じている。起立性調節障害など、医学的に配慮が必要である生徒の入学も増えてきたので、対応できるようにしていきたい。防災訓練についても、重要なことであるので、今後消防署との連携を進めていきたいと考えている。
・生徒会指導部
　文化祭が好評であったが、入場制限をかけるなど工夫することも必要であると考えている。部活動での取組について、途中退部する生徒が少し多くなってきたようなので、その現状を受け止めて対応を考えていきたいと思っている。ボランティアへ参加する生徒も多いため、今後も続くようにしていきたい。
・進路指導部
　令和７年度入試は学びが変わって初めてのテストになるので、今後の動向に注目をしながら対応を進めていきたい。英語関係は、英検等のカリキュラムを考えていく必要がある。検定などが入試で使用できることがあるため、積極的に受けさせたいと思っている
・ＳＳＨ推進部
　連携をしながら進めるということが増えてきている。取り扱う内容が多岐にわたっていることから、さまざまな専門家と協力するのがよいと考えている。先生方の負担も大きいため、相談しながら進めたいと考えている。
・メディア管理部
　メディアリテラシーを育成するために、ＰＣでの操作に加えて図書館利用も増やしていきたい。文学散歩など外部での活動も行うことができた。
・１学年
　得点は取れるが、子供っぽいとことがある考えている。明るく、仲は良いがそれぞれ考えながら動くことができていないようなところもある。主体的に動ける環境を作っていきたい。
・２学年
　文武両道をモットーにしているが、二極化しており、しっかりとできる生徒とそうでない生徒が分かれてしまっている。双方へのアプローチが難しいと感じている。
・３学年
　進路指導に力を入れている。自主的な学習を促していきたい。ＳＳＨ事業についても継続的に参加させるように促していくことを実施した。
・学校全体
　ＳＳＨ運営指導委員会でも話題になったが、基礎学習などに対する意識が弱いと感じている。探究的な学びと並走して、基礎基本についてもしっかりと取り組む必要がある。
　英語を学ぶという主体性については課題と言える、自学自習を促すスペースが必要だと考えている。特に５

階はあまり活用されていないエリアなので、今後再編を使用と考えている。自転車事故が多かった印象である。今後気を付けさせるように注意を促していかなければならない。サイエンスの学びについては、企業や大学とつながり始めているが、今後どのように発展させていくのかが課題である。今後も検討しながら進めていく。
＜質疑応答＞
・学校全体の評価について、４項目のうち２つがＢになっているのはなぜか。
　→学習の部分については、まだまだ自学自習を促すことができると考え、Ｂとしている。環境づくりを今後さらに頑張っていきたい。また、先生方に関する危機管理の研修については、実施が弱い点があったと認識している。今後さらに行っていかなければならないということを踏まえ、Ｂとした。
・生徒会指導部がイベント参加の申込を取っているのがよいと感じた。
　→学校ＨＰを活用して事前申し込みを行った。これにより、どういう人が参加するのかを事前に把握することができた。
・部活動指導に力を入れているということがよいと感じた。今の時代はメディア越しに会話をしたりすることが盛んなので、実際にチームとして協力することなどは大変有意義である。大学で人格形成をするわけではないので、高校までに人格形成する要素に力を入れてもらっているのはありがたい。
　→部活動指導は力を入れている。生徒もやりたいというものを選んで続けているので、引き続き頑張らせていきたいと考えている。
・部活動で育成できることはたくさんあると考える。人格形成の要素としてしっかりと行ってもらいたいと思う。学年が上がるにつれて、部活動の加入率が下がることはやや残念である。魅力ある活動にしてもらえるとよい。
　→コロナ禍を経験している生徒たちであり、なかなか指導がうまくいかないこともある。しかしながら、部活での指導は重要だと思うのでしっかりとやっていきたい。
・朝早くから勉強をするために登校している生徒も多く見受けられるため、自習をする環境きちんと設定することが大事だと思う。先ほど５階の活用がいまいちであるという話も聞いたので、検討をしてもらえるとよい。
　→環境整備をきちんと行っていきたいと考えている。地域からも見守られているということを意識して、生徒の指導を続けていきたい。
・地域とのつながりを大切にしてもらっているのはありがたい。今後も引き続きお願いしたい。
　→さまざまな依頼を受けて対応を進めているところである。引き続きさまざまな挑戦をさせ、地域とのつながりを大切にしていきたい。
・ヘルメットの着用率は気になっていた。生徒の安全上、やはり徹底してもらいたいところである。イヤフォンも最近多い。学校から怪我をして帰ってきました、では保護者が悲しむので、指導を徹底してもらいたい。
　→生徒指導部を中心に指導を継続しているところではあるが、イヤフォンの部分をさらに徹底していきたいと感じている。
・学年が上がるにつれて、部活動への加入率が下がっているように感じるがこの理由は何か。
　→生徒の我慢強さがなくなっているように感じる。中学校は３年間継続という前提で実施することが多いが、高校は自主性を重んじるが故にやめることを自己決定する生徒もいる。学業に集中するという生徒もいるが、ゲームに夢中になる生徒も少なくないと感じている。兼部をしている生徒が１つに絞っていくことも少なくなる原因かも知れない。
・最近はゲームに夢中になっている生徒も多い。ｅスポーツ部などがあってもよいかも知れないと感じるがどうか。
　→ゲームに夢中になる生徒も多いので、検討をしてもよいのかも知れない。
・教員の年代が偏っているように思える。中堅の先生がなかなかいないという点は学校の指導体制として不安を感じる。

→異動のタイミングもあるのかも知れないが、年代の方よりはあると感じている。若い年代が多くなってきたので、業務内容をどのように継承していくのかというのは課題となっている。今まで中堅教員が行っていた業務についても、若手が行わなければならない状況も起きており、業務遂行が難しい内容もある。

・保護者より若い年代の教員が多くなってきているように感じる。学校全体として保護者に対応できるような組織づくりをしていくことが重要である。最近は大学にも保護者がクレームをつけに来る時代である。きちんと対応できる組織にしないといけない。

→高校でもさまざまな保護者から意見をもらうことがある。担当者は２名以上にするように心がけており、一人で対応するということがないようにしている。組織対応は重要だと考えているので、引き続きしっかりとやっていきたいと思う。

・意見を言う保護者はいる。その保護者に対してきちんと対応できるような組織が必要であると考える。一人で対応するのは大変難しい。

→組織の中で情報共有をきちんと行っておき、さまざまな角度から意見を返すことができるようにしていきたいと思う。組織的な対応をしていくということは大変重要であるので、今後もしっかりと対応を進めていきたい。

・保護者からの意見を保護者全体と共有するというのもよい方法かも知れない。（永澤さん）

→保護者の方もさまざまな視点をもっているので、みんなで課題解決をしていけたらと感じている。実現するためにはどのようにするのか検討してみたいと感じる。

・ＳＳＨ運営指導委員会でも申し上げたが、質を上げていくという段階に来ていると感じる。記録に残す、発信するなどしていくことで、大宮北高等学校の質がもっと高まると感じるので、ぜひ行ってもらいたい。先生方が一生懸命やっている内容を「一生懸命やっている」「生徒の実績である」と見えるようにしてよいと思う。）

→その部分がなかなかできていないと実感しているところである。今後の課題としてしっかりと行っていきたいと思う。

・きちんとした日本語を使う必要がある。きちんとした日本語が、きちんとした英語につながるはずである。言葉を大切にしてもらいたい。

→ＳＳＨだけではなく他の部分でも、非常に重要な提案だと感じた。きちんとした日本語を使えていない生徒も多くなっている中で、英語教育を押し付ける状態が少なからずあったかも知れない。今後の課題として、対応方法を検討していきたいと感じる。

・学校全体の雰囲気は、徐々に良くなっていると思う。地域に住む人間としては、楽しい学校づくりを引き続きしてもらいたいと感じる。

→さまざまな挑戦をしながら、楽しい学校づくりを継続していきたいと思う。